



SC3WP06GA

工人舎

<http://www.kohjinsha.com/>

●直販価格/9万9800円 ●OS/Windows Vista® Home Premium 正規版 ●CPU/Atomプロセッサ-Z520 (1.33GHz) ●メモリ/1GB ●HDD/60GB ●ディスプレイ/タッチパネル付7インチワイド液晶 (1024×600ドット) ●サイズ/189 (W)×254~33 (H)×155 (D)mm (突起部含まず) ●重量/約320g

第2回

いつでもどこでもTV を見られるワンセグで 情報収集と気分転換!



アニーク・ミコ

レポーター

『Japan Biz Cast』(NHK国際放送)に出演中のカナダ出身のレポーター。和食好きで特にウニや焼き魚、豆腐を好んで食べるという日本通。土屋アンナ好きでもあり「映画『さくらん』は素晴らしい!!」と絶賛。

ケータイのワンセグよりも画面が大きくて見やすい!

レポーターという仕事は、現場で取材をしてそれで終わり、というものではなく……。実は現場取材のほかにも、たくさんの方が、資料の読み込みなど、取材の前後にはたくさんの方の仕事が待ち受けています。

でも、仕事に没頭しすぎると、アタマが仕事のことだけでいっぱいになり、気持ちに余裕がなくなってしまうものですよ。だから、適度な休憩を取りながら仕事を進めるようにしています。

ちよつと時間があるときは同僚を誘って近くへお茶に出かけたり、ひとりで軽い休憩を取るときは温かいお茶やコーヒーを飲みながら雑誌を眺めたりと、休憩の仕方はいろいろです。

でも、最近はSCシリーズのホワイトモデルを使ってプライベートなメールをチェックすることが多いかも。友達からの励ましメー

ルやゴハンのお誘いメールが届いていたら、その場ですぐに返信します。

SCシリーズには新開発のキーボードが搭載されているから、ポテリは小さなサイズでも、とって文字を打ちやすいんです。だから、ストレスなしでメールの文章をスラスラと書くことができます。

それから、仕事と仕事の間がポツカリ空いたときなど、時間があるときには、ワンセグ機能を活用してテレビ観賞です。

そう、SCシリーズにはワンセグが内蔵されているから、いつでもどこでも、コンパクトなポータブルテレビとして使えるんです。アンテナはディスプレイに内蔵されているので、「テレビを見たいな」と思ったらサッと引き出して、スマートにワンセグを楽しめます。

気分転換のつもりでワンセグを見るのですが、ついついニュースや情報番組が気になってチェックしてしまいます。

ほかのレポーターさんのレポートを見て参考にしたり、旬の人物や食べ物、スポーツなどの情報を知ったり、最新のニュースから世の中の流れを読み取ったり。何気なく見ているつもりでテレビでも、あとから何かの形で仕事に役立つことが意外と多いということを実感しています。

テレビを見るのが家にいるときだけだと、朝のニュースや夜のバラエティやドラマくらいしか見

られません。でも、ワンセグを使えばいろいろな時間帯のいろいろな番組をチェックできるので、外出が多い私にはとても重宝しているんです。

こんな風にもモバイルノートを使っていると、気になるのがバッテリーです。いくら便利な機能が満載でも、バッテリーのもちが悪いと残量ばかりが気になってしまい、使いたいときに使えないことが多いですから。

その点もSCシリーズは安心です。世界最小のトランジスタを集積した最新のインテルAtomプロセッサを搭載しているから、バッテリーのもちもバツグンなんです。

だから、今ではSCシリーズは私の頼もしいパートナー。次回は、ビデオチャットやフォトビューアとしての使い方とが、SCシリーズに備わっている、いろいろな「小技」をご紹介します!

キーボードも実用的



●専用設計のキーボードはキーボード形状に工夫があり打ちやすい。